

7. 広報・出版

7.1 出版物

7.1.1 防災研究所年報

防災研究所年報は、防災研究所の活動、研究成果を報告する中核的出版物で、毎年1回4月に出版される。防災研究所年報は、平成14年度は2分冊(A, B)、平成15年度、16年度は、分冊A, Bに加えて、21世紀COEプログラム(災害学理の究明と防災学の構築)の研究報告をまとめた英文の年報Cが発刊された。年報Aには、当該年度退官教官の最終講義録と業績リスト、当該年度における主要な災害に関する特別寄稿、公開講座におけるパネルディスカッションの記録などが掲載されている。年報Bは、防災研究所常勤教員、非常勤教員、所外「研究担当者」の寄稿した研究論文、調査資料をまとめたものである。年報Cには、当該年度に行われた21世紀COEプログラムによる研究内容が3つの分担研究項目について、12のサブテーマごとに紹介されている他、当該年度に実施した研究に関する論文が英文で掲載されている。なお、年報B及び年報Cに掲載した論文は、防災研究所年次発表会で発表され、議論、討議をされたものである。

年報Bに掲載された論文数は、平成14年度(第46号)は70件、平成15年度(第47号)は79件、平成16年度(第48号)は87件と、年々着実に増加している。また、年報Cに掲載された論文数は、平成15年度(第47号)は35件、平成16年度(第48号)は35件である。「防災研究所年報」は、研究所常勤・非常勤教員、研究担当者などに配布されるほか、国内外の研究機関などに約500部(内、国外40部)寄贈され、研究成果の普及に努めている。また、後に述べるように、防災研究所ホームページにこれまで発刊された全ての年報の全文が公開され、

著者名、論文名その他、キーワードによる検索も可能となっている。

なお、インターネットが急速に普及した現在において、冊子としての年報の発刊の意味について、論議が行われている。現在、年報に掲載される論文は、研究成果の迅速な公開のために、冊子として刊行される前に、編集・校正作業が終了した段階で防災研究所ホームページに掲載される。

「防災研究所年報」は研究所創設以来、研究所の成果公表の任にあたってきた。本研究所での研究活動の全貌をまとめて公表することや研究成果の速報性など「防災研究所年報」がもつ意義は非常に高いが、近年、様々な論文誌の発刊が相次ぎ、各研究機関が発刊する年報の意味が薄れつつあることも事実である。しかし、防災研究の研究成果を広く社会に発信するためには、年報のような機関発行物の意味は、これからも重要性を持つと思われる。インターネットの他の検索システムとの連携など、より迅速で幅広い研究成果の公表の為、今後とも努力しなければならない。

7.1.2 防災研究所ニュースレター

防災研究所全体の活動や研究成果を、一般の人も含めて迅速に分かりやすく発信するため、1994年度からニュースレター「DPRI News Letter」を年4回発行している。21世紀COEプログラムなどの防災研究所が進める大規模プロジェクトや国際共同研究の紹介、日本及び世界で頻発する自然災害の調査、防災研究所で行われている特徴ある研究の紹介、防災研究所研究集会、防災研究所公開講座、年次研究発表会、

研究所公開の紹介記事などがタイムリーに掲載され、防災研究所の研究活動の広告塔の役割を担っている。ニュースレターも、年報と同様に、発刊と同時に防災研究所のホームページに掲載される。また、国際共同研究や、海外の関心が高い研究課題については、その内容を英文記事にして発行している。

7.1.3 その他の出版物

防災研究所要覧は防災研究所の活動内容を紹介するパンフレットで、和文と英文が隔年ごとに刊行されている。この中は、組織構成、部門センターの活動状況、構成員などが、カラーで分かりやすく紹介され、防災研究所に訪れる研究者や一般の見学者に配布されている。なお、最新版については、ホームページで全文が紹介

されている。

また、自己点検評価報告書（平成15年度）の刊行や、平成15年度に実施された外部評価の報告書（自己評価報告書の英文版を含む）も刊行された。なお、これらの報告書の全文が、防災研究所ホームページで公開されている。

7.1.4 部門・センターの出版物 (平成15年度版のコピー)

研究所としての広報は「防災研究所年報」、 「DPRI News Letter」、 「防災研究所ホームページ」であるが、それとは別に各研究部門・研究センターが、独自の分野の内容を盛り込んだ研究報告を出版している。表7.1に各部門・センターが平成14年～16年に発行した出版物を示す。

表 7.1 部門センターの出版物

部門・センター名	出版物	定/不定期	出版頻度	出版部数	出版物に関する簡単な説明
地震予知研究センター	地震予知研究センター 研究成果集	定期	1回/年		地震予知研究センターで実施された研究成果を、年1回まとめたものである。平成14～16年度には、第12号(1, 2), 第13号, 第14号が発刊された。
地震予知研究センター	地震予知研究センターパンフレット	不定期			一般人及び訪問者向けに地震予知センターの研究活動を分かりやすく説明したパンフ(13ページ)であり、平成15年に発行された。
地震予知研究センター	Research Center for Earthquake Prediction (English version),	不定期			上記パンフの英文版
地震予知研究センター	上宝観測所パンフレット	不定期			地震予知センター附属の上宝観測所の紹介パンフである。平成16年に発行された。
巨大災害	世界災害報告	定期	1回/年		国際赤十字・赤新月社連盟と共同して、世界災害報告を日本語訳したものである。
巨大災害	DRS テクニカルレポート	不定期		300～500	「防災対策のためのシナリオ・プランニング手法の確立」 「日本学術会議自然災害工学専門委員会報告-スーパー広域災害の新たな社会的課題」 「National Wildfire Coordinating Group INCIDENT COMMAND SYSTEM NATIONAL TRAINING CURRICULUM Module1-Module17」 「MRIKINA SAFETY PROGRAM COMPEHENSIVE EARTHQUAKE DISASTER REDUCTION (CEDR)」
巨大災害	比較防災学ワークショッププロシーディングズ	定期	1回/年	200	さまざまな角度から生活と防災の関係について比較・検討する場を作ろうという試みである。平成14～16年度には、第2～4回のワークショップが開催された。
巨大災害	ワークショップ 災害を観る	定期	1回/2年	200	「災害を可視化する」をキーワードにして、防災研究の最先端を紹介する試みである。平成14～16年度には、第3, 4回のワークショップが開催された。
巨大災害	ICS レポート	不定期	1回/年	300	National Wildfire Coordinating Group INCIDENT COMMAND SYSTEM NATIONAL TRAINING CURRICULUM Module1-Module17
巨大災害	Memorial Conference in Kobe	定期	1回/年	500	阪神大震災の教訓に基づいて、震災後に取り組みられた様々な復興の取り組みについて討議している。平成14～16年度には、第7～9回の3つの会議を開催した。それぞれのメインテーマは、「住宅の再建」、「マスコミ体験」、「復興まちづくり」であった。
斜面災害	斜面災害研究センターパンフレット	定期	1回/2年	2000	斜面災害研究センターを紹介するためのフルカラーパンフレットである。(1) 設立目的, (2) 沿革, (3) 研究内容, (4) 国際斜面災害研究計画(IPL), 京都大学・ユネスコ・国際斜面災害研究機構(ICL)によるUNITWIN共同計画, ユネスコ防災研究所研究協力覚え書き等の国際共同研究体制の紹介, (5) 研究施設, (6) 大学院入試情報, (7) 最近の斜面災害の事例紹介, からなる。

7.2 ホームページ

防災研究所ホームページは、1996年に開設され一般に公開されている。この10年間のインターネットの拡大と普及はめざましいものがあり、情報発信手段としてのホームページの重要性は急速に高まっている。このような状況のなか、防災研究所のホームページには、組織概要や各研究部門の案内などの研究所紹介をはじめとして、21世紀COEプログラム、大都市大震災軽減化特別プロジェクトを初めとする防災研究所で実施している研究プロジェクトや、自然災害研究協議会などの紹介。防災研究所フォーラムや公開講座、研究所公開などの一般向けの行事予定の掲載と紹介、共同研究の募集、防災研究所年報、DPRI News Letter、自己点検評価報告書、外部点検報告書、国際交流、教官の公募案内など多岐にわたる情報を発信している。また、平成14年度から一般人向けに防災Q&Aを開設し、啓蒙活動をかねて、社会の質問・疑問に積極的に答えている。

なお、7.1 出版物の項で述べたように、年報、ニュースレター、自己評価報告書を初めとする防災研究所の主要な出版物の全文がホームページでいち早く公開されている。特に、年報については、検索システムが構築され、これまで発行された全ての年報について検索が可能となっている。

平成16度からは研究紹介に加えて、防災研究所が京都大学で担当しての全学共通科目や、各教員の学部・大学院での担当科目を記載し、防災研究所での教育内容についても紹介するページを開設した。

なお、表 7-1 に示したように、ホームページは利

用の使い勝手を考慮して、適宜改善されている。

なお、防災研究所のホームページの URL は以下の通りである。

http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/web_j/index_topics.html

**表 7-1 防災研究所ホームページの更新状況
(平成16年度)**

2004/07/05	トップ：「防災教育」の項目追加
2004/07/12	トップ：Q&A のデザイン的大幅更新 (視覚効果の改善)
2004/07/13	トップ：英語ページの「Publications」 項目追加
2004/07/14	トップ：「防災研教員提供の全学共通 科目 (平成16年度)」の項目追加
2004/08/23	平成16年度自然環境観測実験体験ゼミ (ポケットゼミ) レポートの Web ページ追加
2004/09/03	トップ：「防災教育」を「教育」に変更
2004/09/03	トップ：「教育」の下に「協力講座一覧」 メニューを作成
2004/11/11	トップ：TOPICS に「災害調査関連ペ ージへのリンク」項目追加
2004/12/01	所内掲示板内：平成16年度防災研究 所研究発表講演会の Web 登録フォー ム作成